

発明の名称:自己免疫疾患の抑制用医薬組成物及び自己抗体の産生抑制剤

利用・用途・応用分野

関節炎の治療

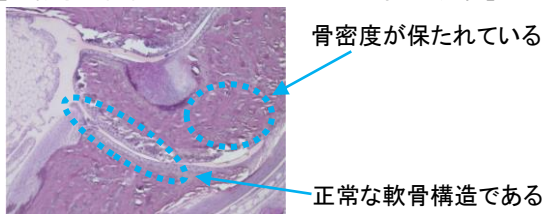
目的・課題

従来の関節炎治療薬では、過度の免疫抑制作用による副作用が問題となっていた。そのため、免疫抑制作用が少なく、関節炎をはじめとする自己免疫疾患を抑制可能な薬剤が求められている。自己免疫疾患、特に自己免疫性関節炎を抑制可能な医薬組成物を提供することを課題とする。

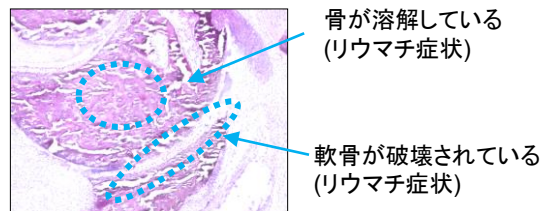
解決ポイント

- ◆自己免疫疾患の抑制効果を有する薬剤として筋弛緩などの作用を有するダントロレンに着目。関節リウマチの代表的なモデルであるコラーゲン誘導性関節炎(CIA)マウスを使用し、関節炎の抑制効果を見出した。
- ◆ダントロレン又は薬学上許容される塩あるいはそれらの水和物を有効成分とし、剤形が注射剤、点滴剤、内服剤、吸引剤、又は坐剤であることを特徴とする自己免疫疾患の抑制用医薬組成物を調製する。
- ◆ダントロレンは、自己抗体の産生抑制効果もあることを見出し、本発明を完成した。

【組織学的評価でのダントロレンのCIA抑制効果】

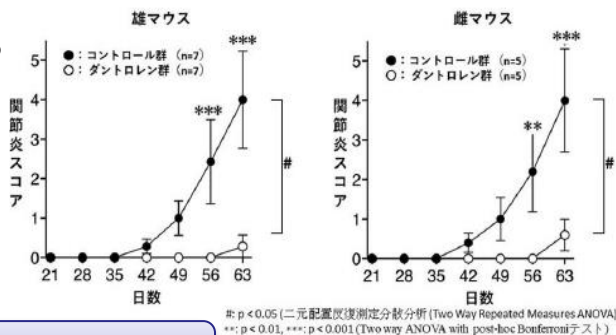


ダントロレン投与CIAマウス



CIAマウス(コントロール)

【CIAマウスの四肢の関節炎スコアの評価結果】



研究概要・アピールポイント

- ◆自己免疫疾患の抑制用医薬組成物により、自己免疫疾患、特に自己免疫性関節炎を抑制することが可能となる。
- ◆本発明の自己抗体の産生抑制剤により、自己抗体の産生を抑制することが可能となる。
- ◆ダントロレンには免疫抑制効果はなく、副作用の少ない関節炎治療が期待できる。
- ◆CIAマウスで関節炎抑制効果を実証済みである。

山口TLOでは共同研究を希望する企業と大学との共同研究契約締結に必要な各種支援も行います。また、企業と実施許諾契約、有償譲渡契約、オプション契約(当該技術に係るノウハウ等の秘密情報の開示と共に選択権を約定するもの)など、パートナー企業が希望する契約種別に応じて、相談・支援及び契約締結を行います。お気軽にお問い合わせ下さい。